

編集後記

昨年は、世界的な温暖化の影響が続くなか、日本においても近年まれにみる夏台風の本州接近と異常気象による豪雨災害が多い年でした。

8月の台風7号では東海道新幹線が台風によって計画運休したにも係らず、その後の線状降水帯による静岡局豪雨などで新幹線が運転見合わせとなり、お盆の交通網が大混乱となりました。また、台風13号では千葉県を中心に中小河川氾濫による家屋の床上浸水が多数発生しました。

そして元日早々の「令和6年能登半島地震」の発生です。最大深度7による家屋倒壊や火災、津波に加え道路・電気・水道などのライフラインが遮断され、大震災に匹敵する激甚災害でした。犠牲となられた方々に、心よりお悔み申し上げるとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

2月号では、今後ますます懸念される地震や台風、洪水などの大災害に備えるため「大規模災害、防災、災害復旧、復興」をテーマに、10年余を経過した東日本大震災を踏まえ、防災関連技術の動向を報告しました。

巻頭言では、防災科研の理事長から、「建設機械と防災」と題して大災害と建設機械のかかわりと、今後発生するであろう大災害への備えについて、時代の流れに沿った今後対処すべき方向性を提言頂きました。

行政情報は、関東大震災から100年を迎え、首都直下地震に対する関東地方整備局の取り組みと、過去に学び次世代へつなぐ防災推進国民大会2023の開催報告を頂きました。

特集報文では、免震や耐震、耐火などの新技術や新素材の開発状況、災害対応のためのモニタリングシステム、令和3年の熱海土石流災害の復興状況や東海道新幹線の駅ホーム上屋の耐震対策、地震で被災した東北新幹線高架橋橋桁の早期復旧など様々な分野から数多くの報告を頂きました。

交流のひろばでは、能登半島地震で被災された皆様が、今まさに直面している課題の一つである災害廃棄物の迅速な災害復興に向けた取り組みを紹介頂きました。

最後になりますが、ご多忙の中、執筆頂いた皆様に深くお礼申し上げます。本号が今後も発生するであろう大災害への備えについて今一度考えるきっかけになれば幸いです。

(副島・木村)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
中岡 智信	渡邊 和夫
見波 潔	

編集委員長

中野 正則	日本ファブテック(株)
-------	-------------

編集委員

渡邊 賢一	国土交通省
槻瀬 誠	農林水産省
木村 桂一	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
河原 圭司	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
加藤 友希	(株)大林組
出口 明	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
平田 惣一	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

3月号「建築特集」予告

・ロボットフレンドリーな環境の実現に向けた取組 ・「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて ・木材で耐火被覆した鋼管柱の耐火性能 ・高所作業車キーレスシステムの開発 ・コンクリート床仕上げ機械「防音カバー付き電動ハンドトロウエル」の開発 ・展示取壊環境への包括的なアンモニア低減対策 ・建築BIMによる鉄筋の自動配筋・組立と自動配筋検査 ・鋼製建具工事におけるBIM活用 ・大風量かつ吹出し口の結露抑制が可能な空調用誘引ユニット ・国内最高! 162mのビルを新工法で解体 ・マスカットH工法を放射線施設の解体工事に適用拡大 ・実建物のホールライフサイクルアセスメントの検討と環境製品宣言 (EPD) の取得

【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料 (12冊) 10,032円 (税・送料込)

建設機械施工

第76巻第2号 (2024年2月号) (通巻888号)

Vol.76 No.2 February 2024

2024 (令和6) 年2月20日印刷

2024 (令和6) 年2月25日発行 (毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫


印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-4-18	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-17-10	電話 (052) 962-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-4-30	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中